

2026年3月27日

各位

会社名 株式会社ホットリンク
代表者名 代表取締役 檜野安弘
(コード番号：3680 東証グロース)
問合せ先 執行役員 CFO 福島淳二
(TEL. 03-6261-6930)

Startale GroupとのAIエージェント決済領域における事業提携に関するお知らせ

株式会社ホットリンク（以下、当社）は、当社グループの合同会社Nonagon Capitalが、Startale Groupと事業提携を開始したことをお知らせいたします。

本提携は、AIエージェントによる決済（Agentic Payment）という新たな市場領域において、具体的なユースケースの創出および商用化の推進を目的としております。

Nonagon Capitalは、グローバルなWeb3投資ネットワークおよび事業開発の知見を活かし、AIエージェント決済領域におけるユースケース設計やパートナー連携を主導いたします。

一方、Startale Groupは、日本円建てステーブルコイン「JPYSC」の設計・開発を担う技術基盤として、ブロックチェーンを活用した決済インフラの構築を推進いたします。

両社の強みを組み合わせることで、実用的な決済ユースケースの創出から実証、商用化までを一体的に推進し、企業向けを中心とした新たな決済手段の確立を目指してまいります。

1. 提携の背景

AI技術の進展により、AIエージェントが自律的に経済活動を行う動きが加速しており、決済の在り方にも大きな変化が生じております。

特に、AIエージェントによる商品・サービスの購入や投資、さらにはAIエージェント間での取引など、人を介さない決済需要が拡大しており、新たな市場の形成が進みつつあります。

こうした動きを背景に、当社グループはブロックチェーンとAIを組み合わせたAIエージェント決済領域を成長領域と位置付けております。

Nonagon Capitalはこの構造的な市場変化を成長機会と捉え、Startale Groupと連携し、当該領域における事業開発を推進することといたしました。

2. 提携の内容

(1) JPYSCの概要と特徴

JPYSCは、SBIグループとStartale Groupのもと開発が進められている、日本円建ての信託型ステーブルコインです。新生信託銀行が「3号電子決済手段（信託型）」として発行を担い、信託管理により資産の保全・管理を行います。

企業間決済にも対応可能であり、既存金融とブロックチェーンの接続による相互運用性の実現を目指しております。

(2) AIエージェント決済の将来性

AIエージェントは購買や投資などの経済活動を自律的に実行する主体へと進化しており、人を介さない決済需要の拡大が見込まれております。当社グループは、本領域が次世代経済の中核になると考えております。

(3) ブロックチェーン技術がAIエージェント決済にもたらす可能性

ブロックチェーンは、低コストかつ即時性のある決済や認証の簡素化を実現し、AIエージェントによる自律的な取引を支える基盤となります。

本提携では、JPYSCを活用したユースケース創出および実証実験を行ってまいります。

(4) 今後について

本提携により、両社はJPYSCのユースケース創出と普及に向け、実証実験、ユースケース設計、技術検証等を推進してまいります。

詳細につきましては、今後プレスリリース等を通じてお知らせいたします。

3. 業績への影響

本件は事業提携および事業開発に関するものであり、現時点において当社グループの今後の業績に与える影響は軽微と見込んでおります。今後、業績に重要な影響を与える事象が生じた場合には、速やかに開示いたします。

4. リスクに関する留意事項

本件は新たな技術領域および市場領域における事業開発を含むため、制度動向、技術面での課題、市場環境の変化、パートナーとの連携状況等により、想定どおりに進捗しない可能性があります。また、ステーブルコインおよび関連するブロックチェーン技術に関する規制や市場環境の変化等により、今後の事業推進に影響が生じる可能性があります。

5. 将来見通しに関する注意事項

本開示に記載の内容は、現時点における前提および見通しに基づくものであり、実際の事業進捗や成果は市場環境その他の要因により変動する可能性があります。重要な事象が発生した場合には、速やかに開示を行います。